

機械器具(51) 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 ポンプ用経腸栄養延長チューブ 12170042

ネオフィード[®] エックステンションチューブ (DEHPフリー)

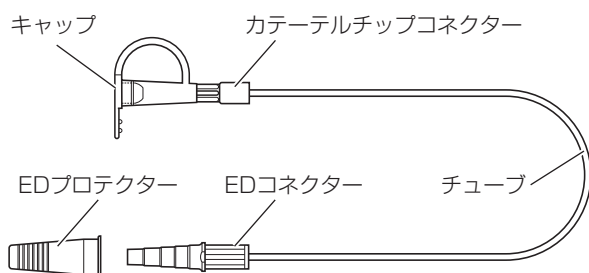
再使用禁止

【禁忌・禁止】

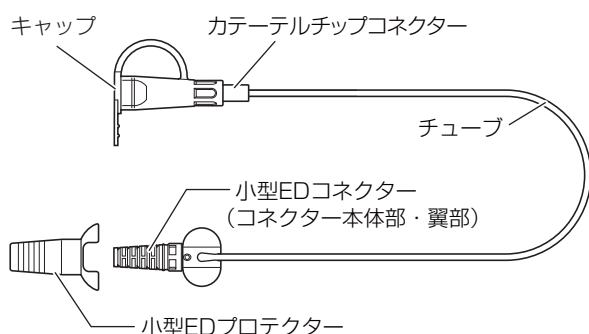
- ・再使用禁止
- ・血管系ラインとの接続はしないこと。[血管に経腸栄養ラインに投与されるべき内服液剤等が投与され、重篤な症状になるおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>



*・Sタイプ



- ・カテーテルチップコネクタ及びEDコネクタにはオレンジ、イエロー、グリーンの色付きがある。
- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：トリメリット酸トリス(2-エチルヘキシル))を使用している。

* (材質)

カテーテルチップコネクタ		ポリ塩化ビニル
チューブ		ポリ塩化ビニル
EDコネクタ		ABS
小型ED コネクタ	コネクタ 本体部	ABS
	翼部	ABS又はポリカーボネイト

(仕様)

チューブ長	50cm
	100cm

- ・JIS T 3264(経腸栄養延長チューブ)を準拠する。

【使用目的又は効果】

- ・栄養を経管的に胃・腸の中に補給する際の延長用チューブとして使用する。

【使用方法等】

1. 包装側面の開封口より開封し、汚染に十分に注意しながらチューブを包装内より取り出す。
2. 接続部は全てカテーテルテーパーになっているので、カテーテルテーパーを有する製品と接続して使用する。その際、接続部先端には直接手を触れないよう注意する。

*・Sタイプ

1. 包装側面の開封口より開封し、汚染に十分に注意しながらチューブを包装内より取り出す。
2. 接続部は全てカテーテルテーパーになっているので、カテーテルテーパーを有する製品と接続して使用する。その際、接続部先端には直接手を触れないよう注意する。
3. 翼部をコネクタ本体部から外し(図1)、チューブの任意の位置で翼部の溝にチューブを挟み込み、翼部を固定する。その際、チューブに対して翼部が垂直になっていることを確認する。(図2)

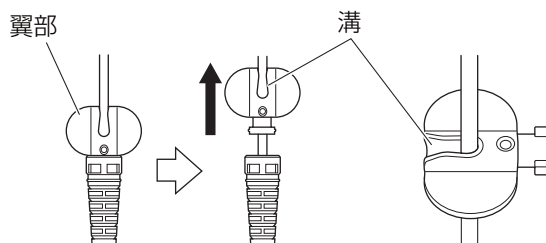


図1 翼部分離

図2 翼部固定時

4. 栄養剤投与が終了したら、翼部の固定を解除し、翼部をコネクタ本体部と接続する。
5. 翼部を回転させながら取り外す。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・本品に過度の引張りや、接続部に対する過度の応力を加えないこと。また、患者の体動による栄養ラインの押し潰し等には十分注意すること。[接続部の破損、緩みや外れ等が生じるおそれがある。]
- ・本品の引張強度は15N(1.5kgf)ですので、チューブに過剰な引張力のかかる使用法はしないこと。また、意識障害の患者には十分に注意して使用すること。[無理な引張力や無意識の自己抜去によりチューブ破断のおそれがある。]
- ・本品には、150kPa(1.5kgf/cm²)以上の圧力が加わる使用はしないこと。[漏れが生じる場合がある。]

- ・チューブ内が閉塞していたり、細いカテーテルを用いているときに、シリンジ(カテーテル)等を用いて薬剤を注入すると、高い内部圧力が発生して、漏れが生じる場合があるので注意すること。
- ・輸液ポンプ等の自動輸液装置で栄養補給する場合は、栄養ラインが閉塞して高い圧力が加わらないよう注意すること。[漏れが生じる場合がある。]
- ・カテーテルチップコネクターやEDコネクターに他のコネクター等を接続する場合には、しっかりと奥まで押し込むこと。[外れるおそれがある。]
- ・カテーテルチップコネクターにキャップをする場合は、しっかりと奥まで押し込むこと。[外れるおそれがある。]
- ・栄養剤等の投与後は、必ずチューブ内をその都度洗浄すること。[栄養剤等の残渣によりチューブ内が閉塞するおそれがある。]
- ・カテーテルチップコネクターとキャップに栄養剤等の残渣が無いように清潔に保つこと。[カテーテルチップコネクターとキャップが外れやすくなる。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・使用前、他の栄養カテーテル、栄養セット等としっかり接続されていることを確認すること。また、使用中は本品の破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
- ・接続部に薬液が付着すると、接続部にゆるみ等が生じる場合があるので注意すること。
- ・チューブを鉗子等でつまんだり、ハサミや刃物等で傷つけないこと。[液漏れ、空気混入、チューブ破断のおそれがある。]

** ＜不具合・有害事象＞

1) その他の不具合

汚染、包装の損傷、接続不良、空気混入、漏れ、外れ、緩み、亀裂、切断、詰まり

2) その他の有害事象

感染

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

＜有効期間＞

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）

TEL 03-3882-3101

